

A-PARTNERS

足立区 NPO 情報紙
つくる。つながる。ひろがる。

No.48
2024年12月15日発行



特集

障がいのある人もない人も アートとスポーツでみんなで遊ぼう
障がいのある人にスポーツとアートの場を提供
ADISC + OPEN4ALL

トピック

- 聞きたいあなただけのストーリー ミレニアムシンガーズ
- センターピックアップ 乳がんヨガの会
- 頼って!おいでよ!子育ておまかせ処 } ボードゲームズ
- コラム スタッフのつぶやき } まなびあい

編集・発行 2024年12月15日 足立区NPO活動支援センター
〒123-0851 足立区梅田7-13-1 (梅田図書館1F) TEL:03-3840-2331 FAX:03-3840-2333 担当所轄: 足立区協働・協創推進課 協働・協創推進担当 TEL:03-3880-5020



子どもの居場所 子育て支援 安心して暮らせる環境や仕組みづくり



頼って!おいでよ!子育ておまかせ処 どこ



ボードゲームズ

主な活動場所: 足立区梅田7-13-1
足立区NPO活動支援センター内
お問い合わせ: webisu201@yahoo.co.jp

ボードゲームを通じた地域交流

活動内容

学習センターや施設・学童などに出向き、ボードゲームを使って子ども達や親子の遊び場、居場所の提供。そして地域交流のコミュニケーションを図っています。

メッセージ

子どもも大人もみんなで世界のボードゲームで遊んでみませんか? ルールがわからなくてもわかりやすく教えますので安心して遊べますよ!



まなびあい

主な活動場所: 足立区内(一ツ家・平野・花畑)
お問い合わせ: manabiaisora@gmail.com

保護者の交流の場に

活動内容

まなびあいは、発達障がいの特性をもつ子どもの子育てをしている保護者を中心に相談・支援を行っています。広報活動として、地域や学校でもお話し会や講演会を行っています。発達障がいでお困りの方はご相談ください。

メッセージ

スタッフは、発達障がいの子を育てています。これまで、学習の遅れ・衝動性・パニック・不登校等様々な問題に向き合ってきました。これらの経験を活かし、相談・支援をしています。ぜひ、お気軽にご相談ください。



「くわしく聞きたい!」
「自分も可かわ始めたい!」
と思ったら...

地域にどんな活動があるのかな?
私にも何かできるのかな?
もっといろいろ知りたい!!
と思った方は、
[足立区 NPO 活動支援センター](#)に
アクセスしましょう。



〒123-0851
東京都足立区梅田七丁目13番1号
TEL:03-3840-2331
adachi-npo-center@machikatsu.co.jp

スタッフのつぶやき

今年も「あだち区民まつり・A-Festa2024」が、10月12日(土)、13日(日)の2日間、荒川河川敷・虹の広場で開催されました。NPO活動支援センターも昨年に引き続き5名のスタッフが参加。当日は季節を無視したような暑さでしたが、大勢の皆さんにご来場いただきました。会場を散策される方々に、「第15回あだちNPOフェスティバル」のチラシを「ぜひご参加ください」と呼びかけながら配布。手にされた方々に「特賞はプレイステーション5ですよ」と伝えると、皆さんから「ぜひ行きます!」とお返事。お子様と一緒にスタンプラリーで奔走する姿が想像できました。本紙発行時にはあだちNPOフェスティバルも無事終了し、特賞を手に入れた方にはちょっと早いクリスマスプレゼントになったのではないのでしょうか。(スタッフ: 藤本)

*** 足立区 NPO 活動支援センター開館日・開館時間 ***

開館日: (火)~(日)
開館時間: 午前9時~午後9時30分 (月末の最終平日は午後5時)
休館日: (月)、(祝)、年末年始

特集 障がいのある人もない人も アートとスポーツでみんなで遊ぼう

知的障がいのある人たちにサッカーなどのスポーツを提供している「ADISC」と、障がいのある人もない人も参加できるストーンアートなどのワークショップを行っている「OPEN4ALL」。あだちNPOフェスティバルでも一緒に出展をした両団体の協創は、どのように始まり、進んでいくのでしょうか。

障がいのある人にスポーツとアートの場を提供

ADISC+OPEN4ALL

両団体の紹介とコラボの経緯

「ADISC(アディスク)」は「Adachi Disability Social Club」の略で、知的障がいのある人たちに主にサッカーなどのスポーツができる環境を提供している団体です。2018年に活動を開始、毎週日曜日に練習を行い、大会にも出場しています。そして「ADISC」と協創でイベントを行う「OPEN4ALL(オープンフォーオール)」。すべての人に開かれた差別のないまちづくりを目指して、障がいのある人でもない人でも一緒に参加できるワークショップなどを行っています。OPEN4ALLの誕生にADISCも大きく関わっていました。

OPEN4ALL代表の菅野さんは、ADISCでは監督を務めています。OPEN4ALLは中学時代の同級生の菅野さん、上今さん、葛生さん、そしてスネルさんの4人で結成した団体です。スネルさんの子どもが特別な支援が必要な「スペシャルニーズ」(障がい者)であり、自分たちで何かできないかと考えたことが活動の始まりとなりました。

「アメリカでは世界自閉症啓発デイの際に、普及啓発のために自閉症のシンボルカラーである青色のものを身に着ける習慣がある」ということを知り、その活動を日本でもできないかと考えました。そこで、ADISCの参加者や家族と一緒に今年春の世界自閉症啓発デイに青いものを身に着けて、桜が咲き誇る舎人公園を歩くというイベントを開催。それがOPEN4ALLを立ち上げるきっかけになりました。

OPEN4ALLの立ち上げと アートイベントの開催

参加者にサッカー以外の活動を提供したいと考えていた菅野さんや、ADISC代表の鶴沢さんは、舎人公園でADISCの選手や家族が楽しむ姿を見て、この活動に大きな意義を感じたと言います。また、上今さんと葛生さんもこのイベントを運営したことで大きな手ごたえを感じていました。そして重度の自閉症を抱える人はサッカーと一緒にやるのは難しいと知ると、サッカーやスポーツ以外で障がいのある人たちと何か一緒にできないかと思ひ、OPEN4ALLを立ち上げました。スポーツ以外でもどんなことができるか、歌やダンスなども考えましたが、最初の活動として選んだのが



「ADISC(アディスク)」と「OPEN4ALL(オープンフォーオール)」の皆さん

新規登録団体紹介

音楽の力で社会貢献を ミレニアムシンガーズ

ミレニアムシンガーズは音楽の力によって人々の心を動かし社会貢献することをPurpöse(存在意義)として活動している団体です。2023年に結成、オペラをはじめとする舞台芸術やクラシック音楽をより身近に感じてもらうことを目的に、竹の塚地域学習センターなどで無料のクラシック音楽のコンサートを開催しています。

足立区の若手アーティストを支援する「あだちエンターテイメントチャレンジャー支援事業」にも登録しており、コンサート以外にも足立区内の合唱団への指導や、住区センターでの訪問演奏なども開催。さらに地域の音楽祭への出演など、幅広く活動しています。

聞きたい、あなただけのストーリー

団体のメンバーは東京藝術大学を卒業した同期11人(歌9人、ピアノ1人、ヴァイオリン1人)で構成されています。東京藝術大学の寮が足立区にあることから「足立区で何か音楽活動ができないか」と話し合い、団体を立ち上げるようになりました。メンバーが全員1990年代生まれのミレニアム世代であることが名前の由来です。

「クラシック音楽を聴いて嬉しいなどの声をいただいたときは、足立区で活動して良かったと思います。クラシック音楽に興味がある人もない人も、ぜひ一度コンサートに足を運んでほしいです」と話すのは、東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程)オペラ専攻に在籍しながら、都内の中学・高校で音楽の講師を務める代表の石本高雅(いしもとこうが)さん。本格的

なクラシックオペラから、馴染みが深い童謡やポップスなど、幅広いレパートリーを持つミレニアムシンガーズのコンサートには、300人の観客が集まることも。そんな演奏を聞きに一度足を運んでみましょう。



ミレニアムシンガーズ周年スペシャルコンサート

ストーンアートでした。ストーンアートは石に絵を描くというアート活動で、障がいのある人でもない人も一緒に参加することができます。今年の7月17日と18日に親子を対象にしたストーンアートのイベントを開催、両日で50名近い参加者が集まりました。ADISCのメンバーも参加するだけでなく、イベントの手伝いや声掛けに協力してくれました。



ストーンアートを楽しむ参加者

今後の展開

OPEN4ALLを立ち上げたメンバーは全員足立区の出身です。足立区の人たちは、下町ならではの人情に熱い人が多く、実際に接した方からは、根はお節介でいい人ばかりだと言われています。それは、障がいのある人たちにも言えると思います。障がいのある人と言われると距離を取ってしまう人もいますが、実際は、優しくまっすぐで素直な人ばかりです。OPEN4ALLは、こういう活動を通じて、障がいのある人と触れ合う機会を作り、多くの人にそれが伝わるといいと考えて活動を続けています。

次の両団体の協創は足立区NPO活動支援センターが主催する「あだちNPOフェスティバル」。両団体でブリスを構えて、障がいに対する啓発を行いながら、鶴沢さんが支援員をしている障がい者支援施設で作った焼き菓子を販売しました。店頭に立ったのはADISCの皆さん。このイベントを通して社会参画や就労のきっかけになればと考えています。

ADISCとOPEN4ALLは同じ想いを持ちながらも、得意分野が異なります。その両団体がコラボレーションすることによって「できることの幅が広がる」と言います。今後は両団体と一緒に、障がいのある人とコミュニケーションを取る場所を作っていくたいと話してくれました。

注目の活動

センターピクニックマップ 体力や健康に自信がない人も気軽に参加できる 乳がんヨガの会

乳がんヨガの会は毎週金曜の午前中にヨガマップを使わずに、椅子で参加できるヨガクラスを行っています。普段着でおしゃべりしながら気軽に参加できるのが特徴です。

代表の花澤華衣さんのお母様が乳がんの手術後に腕が上げにくいなどの症状があったため、他にもそういう人がいるのではないかと思ひ、それをヨガで緩和できればと団体を立ち上げました。

実際始めてみると、健康に自信のない人や疾患を持っている人、体力をつけた人など、参加する人の思いはさまざま。「自分が楽しくて学んできたヨガの知識が、他の人の役に立っていることが嬉しい」と花澤さんは話します。



気軽に参加できる椅子ヨガ